

簡単セットアップガイド

– DFG/USB2pro –



内容

1. 動作までの3ステップ	4
ステップ1 USB2.0 のケーブルを使用して、DFG/USB2pro と PC を接続する	4
ステップ2 ドライバのインストール	5
補足：ドライバのアンインストール	7
ステップ3 キャプチャソフトのインストール	8
2. IC Capture を起動し、デバイスを選択する	9
1. 表示言語を日本語に切り替える	エラー! ブックマークが定義されていません。
2. デバイスの設定（解像度・フレームレート・ピクセルフォーマット）	10
3. 表示ウィンドウサイズの調整	12
4. ROI の設定（画素切り出し）	13
5. 静止画保存：画像の保存	14
6. 静止画保存：シーケンス保存（キーボード押下で静止画保存）	15
7. 静止画保存：自動シーケンス保存（インターバル保存）	16
8. 動画保存	17
9. 構成ファイルの保存と読み出し	18
10. キャリブレーション設定と測長	19
11. オーバーレイ表示	19
12. 歪み補正（画像補正）	21
4. よくある質問（Q&A）	22
Q1. デバイスが認識しない（ハードウェア編）	22
Q2. デバイスが認識しない（ソフトウェア編）	23
Q3. デバイスが不安定動作する	エラー! ブックマークが定義されていません。

適合機種



DFG/USB2aud



DFG/USB2pro

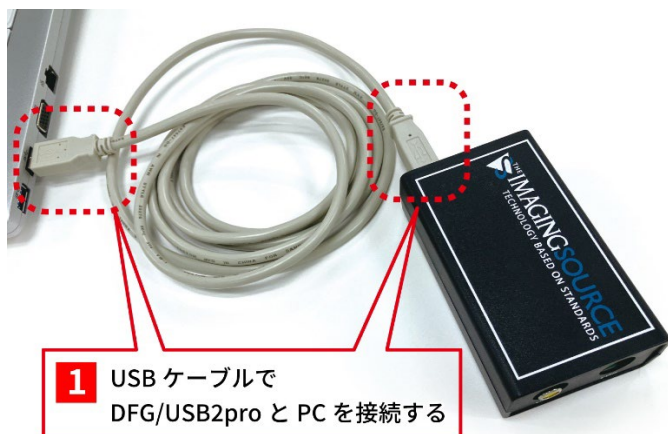
準備するもの

- ・ DFG/USB2pro
- ・ USB2.0 Type B コネクタのケーブル
※DFG/USB2pro にはケーブルは付属しておりませんので、必要な際は別途ご注文ください。
- ・ インターネットに接続できる USB ポートがあるパソコン
※ドライバ、ソフトウェアは弊社 HP よりダウンロードいただけます。

ダウンロードサイト：<https://www.argocorp.com/software/DL/tis/ic4/index.html>

1. 動作までの3ステップ

ステップ1 USB2.0 のケーブルを使用して、DFG/USB2pro と PC を接続する



1 USB ケーブルで
DFG/USB2pro と PC を接続する



- ・ DFG/USB2pro には USB ケーブルは付属しておりませんので、必要な際は別途ご注文ください。
- ・ USB2.0 Type B コネクタのケーブルをご利用ください。

ステップ2 ドライバのインストール

「8. アナログ toUSB コンバータ」のドライバソフトをダウンロードサイトからダウンロードして、インストールしてください。

ダウンロードサイト： <https://www.argocorp.com/software/DL/tis/ic4/index.html#tab2>



ステップ1
レンズの装着・デバイス接続

ステップ2
ドライバのインストール

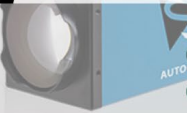
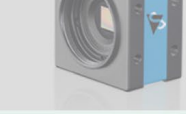
ステップ3
キャプチャソフトのインストール

プログラム開発

サンプル資料

2
ドライバ

機種に合ったドライバをインストールしてください。

1 USB3Vision & UVCカメラ 32U/33U/37U/38Uシリーズ  該当機種 ▼ ダウンロード	2 GigEVisionカメラ 33G/38G/43G/47G/47G-I67シリーズ  該当機種 ▼ ダウンロード	3 電動ズームレンズ内蔵カメラ DFKZシリーズ  該当機種 ▼ ダウンロード
4 DirectShow & UVCカメラ 23U/27U/22/42/72シリーズ  該当機種 ▼ ダウンロード	5 オートフォーカスカメラ 39U-F/AFU/-Fシリーズ  該当機種 ▼ ダウンロード	6 4200万画素カメラ AFU420シリーズ  該当機種 ▼ ダウンロード
7 HDMI to USB コンバータ DFG/HDMI  該当機種 ▼ ダウンロード	8 アナログ to USBコンバータ DFG/USB2pro  該当機種 ▼ ダウンロード	9 USBカメラモニタ直結コンバータ DFG/USBtoHDMI  該当機種 ▼ ダウンロード

クリック



アナログ to USBコンバータ 該当機種

DFG/USB2pro



DFG/USB2aud



DFG/USB2pro

2 種類のドライバ両方のインストールが必要

3.5ドライバ: usb2pro

ver: 2.1.0.253

ダウンロード

4.0ドライバ: DirectShow IC4 GenTL ver: 2.0.0.390

ダウンロード

※ 「3.5ドライバ」と「4.0ドライバ」の両方をインストールしてください

以下の2つのファイルをダウンロードし、両方のインストールを完了させてください。

- 3.5 ドライバ: usb2pro
- 4.0 ドライバ: DirectShow IC4 GenTL

補足：ドライバのアンインストール

ドライバのアンインストールは設定→アプリ→インストールされているアプリから削除するようにしてください。

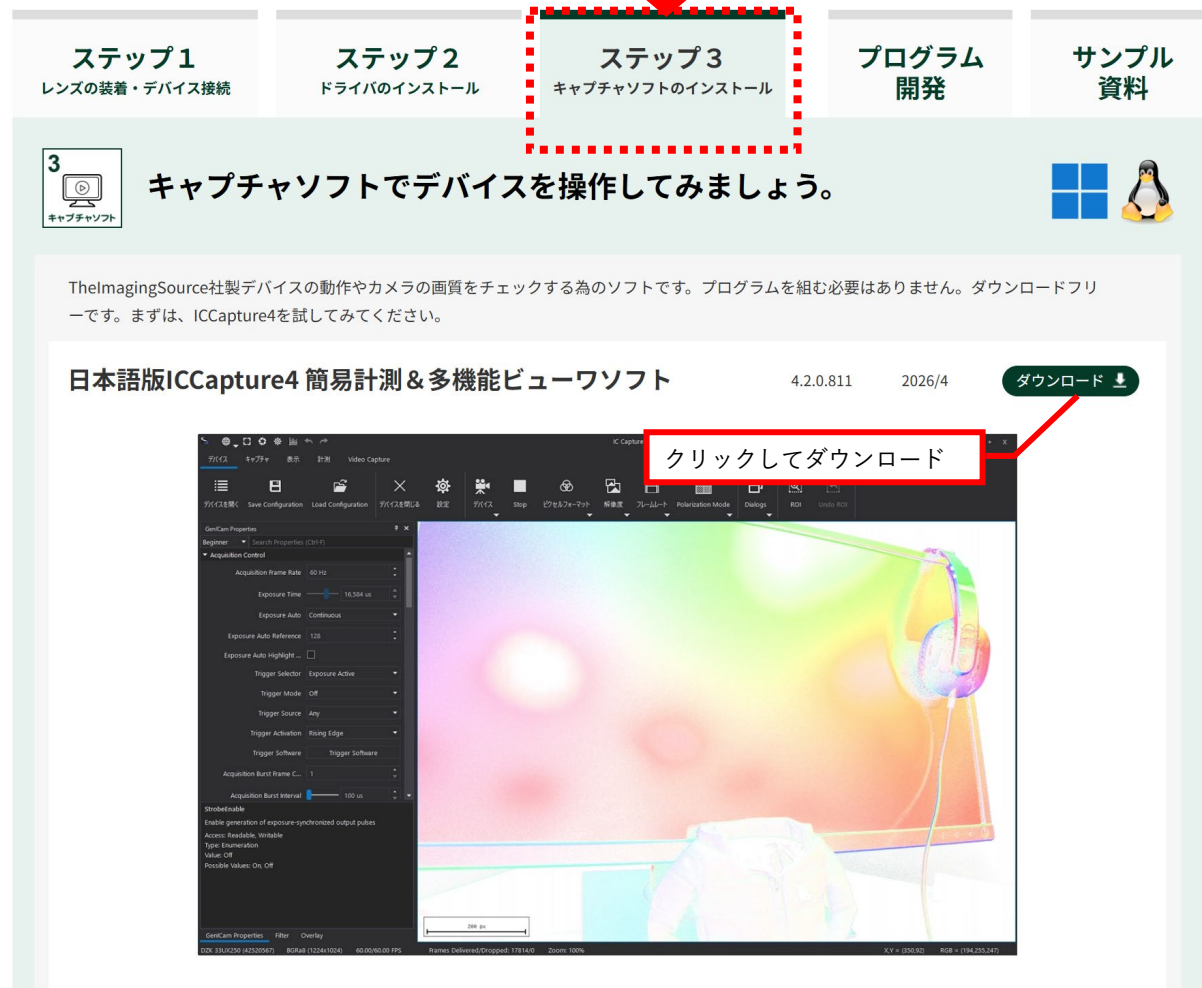


デバイスマネージャー上でドライバを削除してもアンインストールしない限り消えませんので注意してください。PC に付属しているデバイスや別の WEB カメラのドライバソフトウェア、TIS のドライバを再インストールする時などにアンインストールをご検討ください。

ステップ3 キャプチャソフトのインストール

IC Capture を以下よりダウンロードし、インストールします。

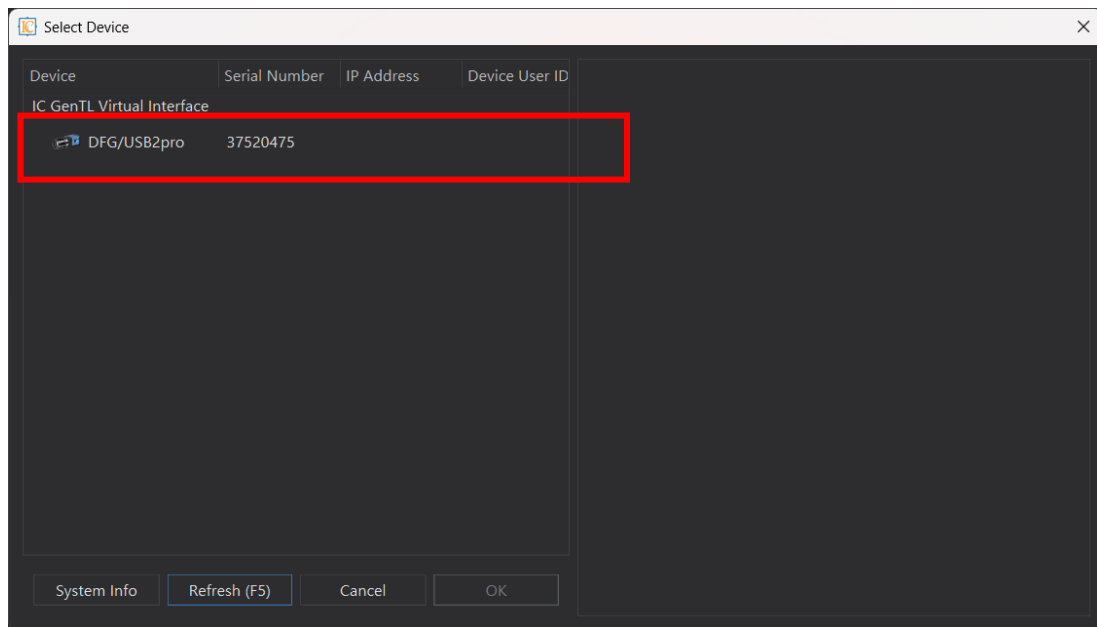
ダウンロードサイト：<https://www.argocorp.com/software/DL/tis/ic4/index.html#tab3>



The screenshot shows the IC Capture software download page. At the top, there are five tabs: **ステップ1** (レンズの装着・デバイス接続), **ステップ2** (ドライバのインストール), **ステップ3** (キャプチャソフトのインストール), **プログラム開発**, and **サンプル資料**. The **ステップ3** tab is highlighted with a red dashed border. Below the tabs, there is a section titled **3 キャプチャソフト** with the text **キャプチャソフトでデバイスを操作してみましょう。** Below this, there is a paragraph of Japanese text. The main section is titled **日本語版ICCapture4 簡易計測&多機能ビューワソフト** with version **4.2.0.811** and date **2026/4**. A **ダウンロード** button is visible. Below the text, there is a screenshot of the IC Capture software interface. A red box highlights the **クリックしてダウンロード** text in the software interface, with a red arrow pointing to the **ダウンロード** button on the page.

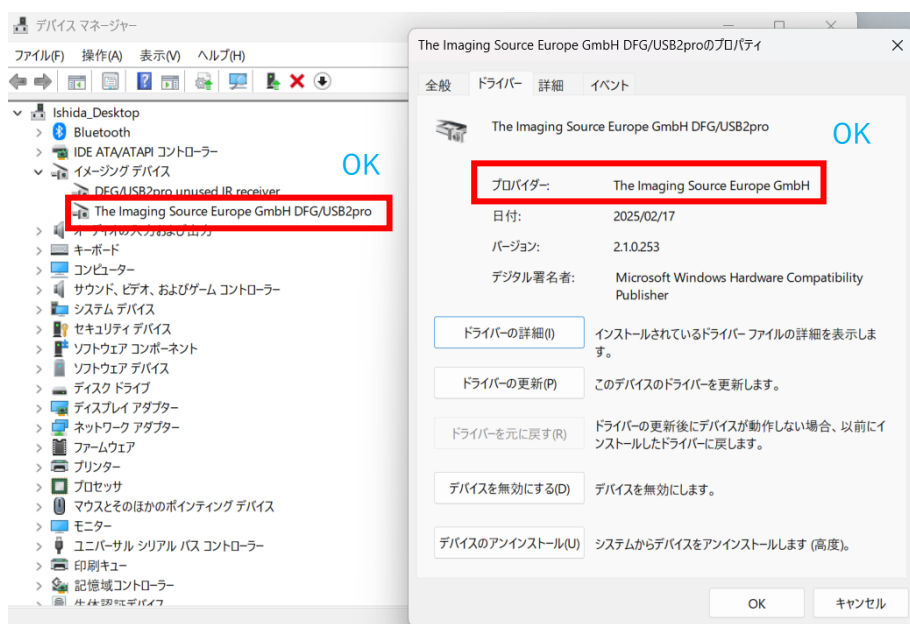
2. IC Capture を起動し、デバイスを選択する

デスクトップにある「IC Capture 4」のショートカットをダブルクリックして起動します。起動後に表示されるダイアログから、使用するデバイスを選択します。



トラブルシューティング：デバイスが表示されない場合

デバイス一覧にデバイスが一つも表示されない場合は、デバイスドライバーが正常にインストールされていない可能性があります。該当するデバイスのドライバを再インストールしてください。ドライバが正しくインストールされている場合、Windows の「デバイスマネージャー」上では下図のように表示されます。その上で IC3.5 と IC4 の 2 種類のドライバがインストールされていることを確認してください。



3．IC Capture の機能紹介

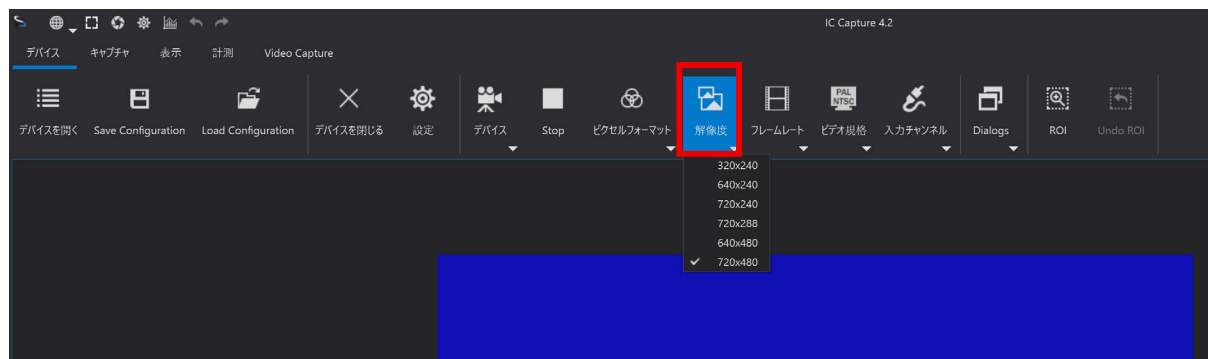
1. 表示言語を日本語に切り替える



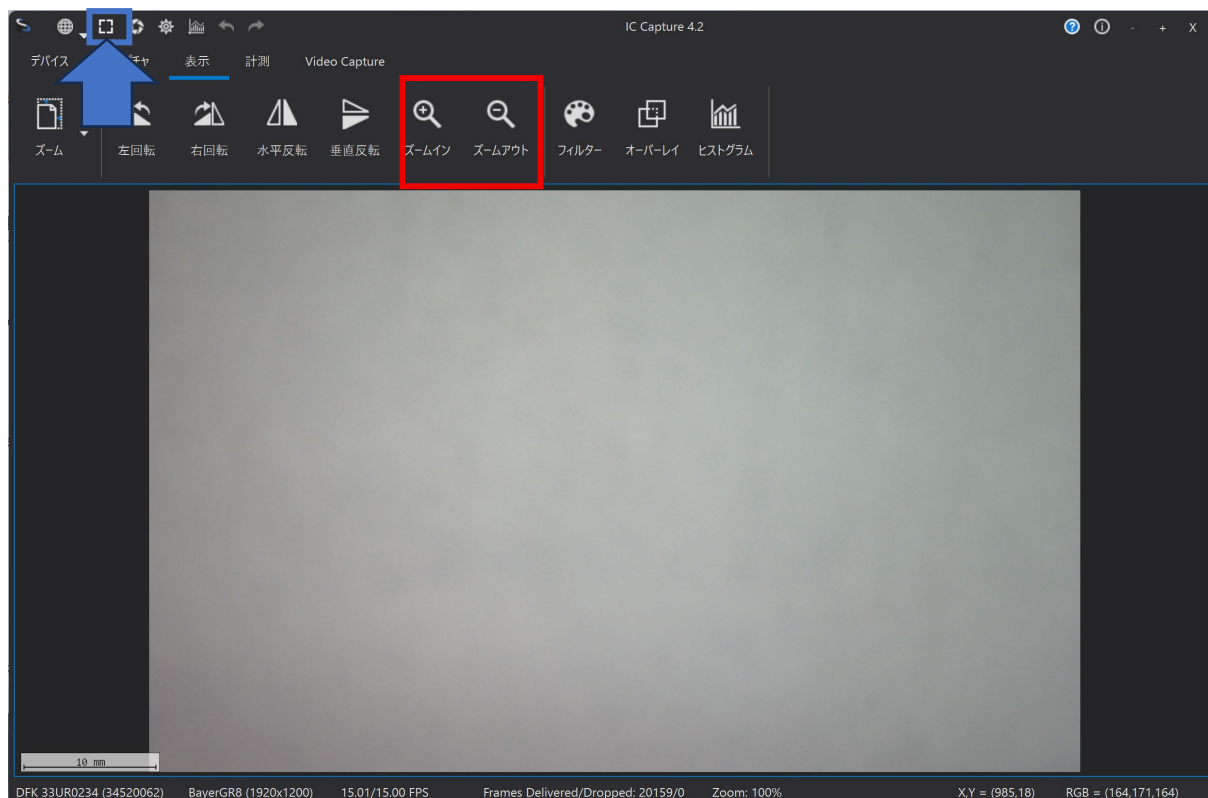
画面左上の🌐をクリックし、日本語を選択すると、IC Capture4 の表示言語を日本語に変更できます。

2. デバイスの設定（解像度・フレームレート・ピクセルフォーマット）

解像度、フレームレート、入力チャンネル(NTSC/PAL)、入力チャンネル(Composite/SVideo)を設定してください。なお、解像度を下げると視野が狭くなるため注意してください。



3. 表示ウィンドウサイズの調整



【表示の拡大・縮小（デジタルズーム）】

画面上部の「虫眼鏡アイコン」をクリック、または「マウスホイール」を操作することで、表示の拡大・縮小が可能です。

※補足：これはソフトウェア上で画像を拡大する「デジタルズーム」です。レンズ自体を駆動させて倍率を変える「光学ズーム」とは異なります。

【全画面（フルスクリーン）表示】

該当のアイコン（※図の青丸部分）をクリックすると、全画面表示になります。

なお、全画面表示中に「ESC」キーを押下すると、元の画面サイズに戻ります。

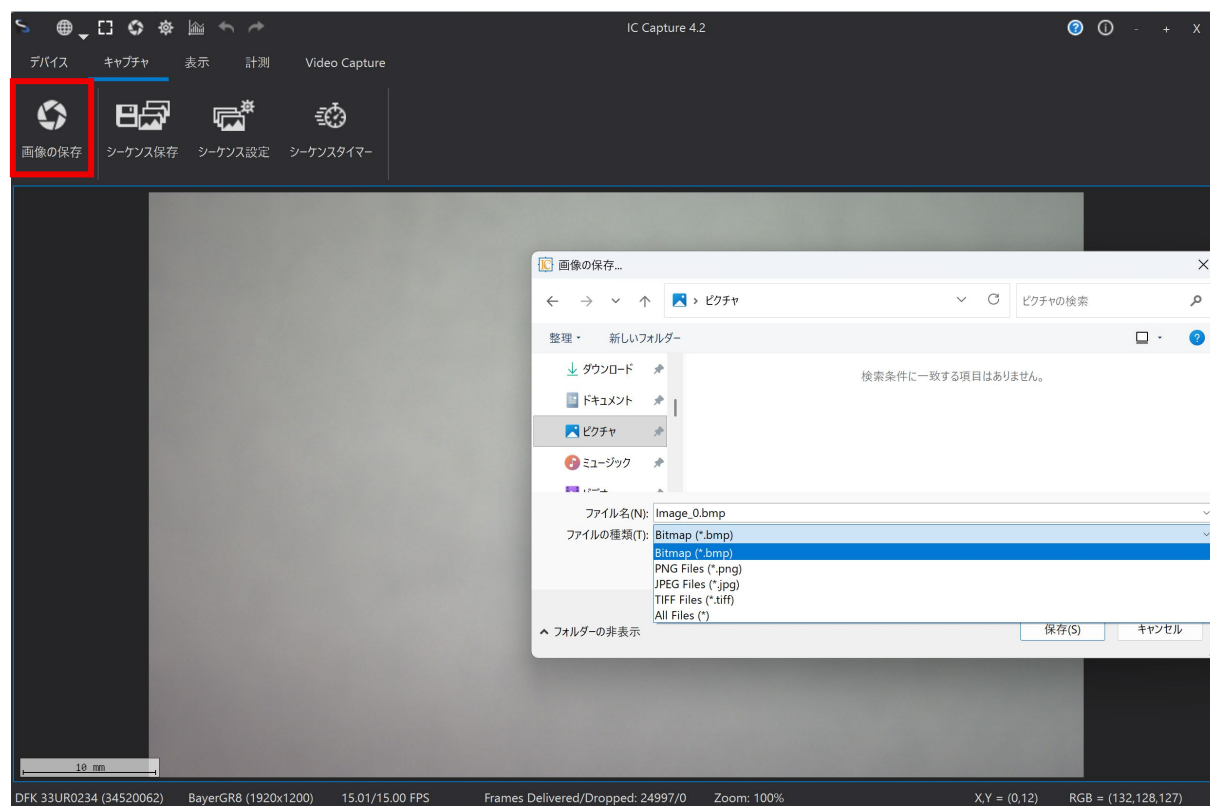
4. ROI の設定（画素切り出し）

ROI 機能を使用すると、画像の中から必要な範囲だけを切り出して表示・取得できます。設定を元に戻したい場合は、「Undo ROI」を選択してください。



5. 静止画保存：画像の保存

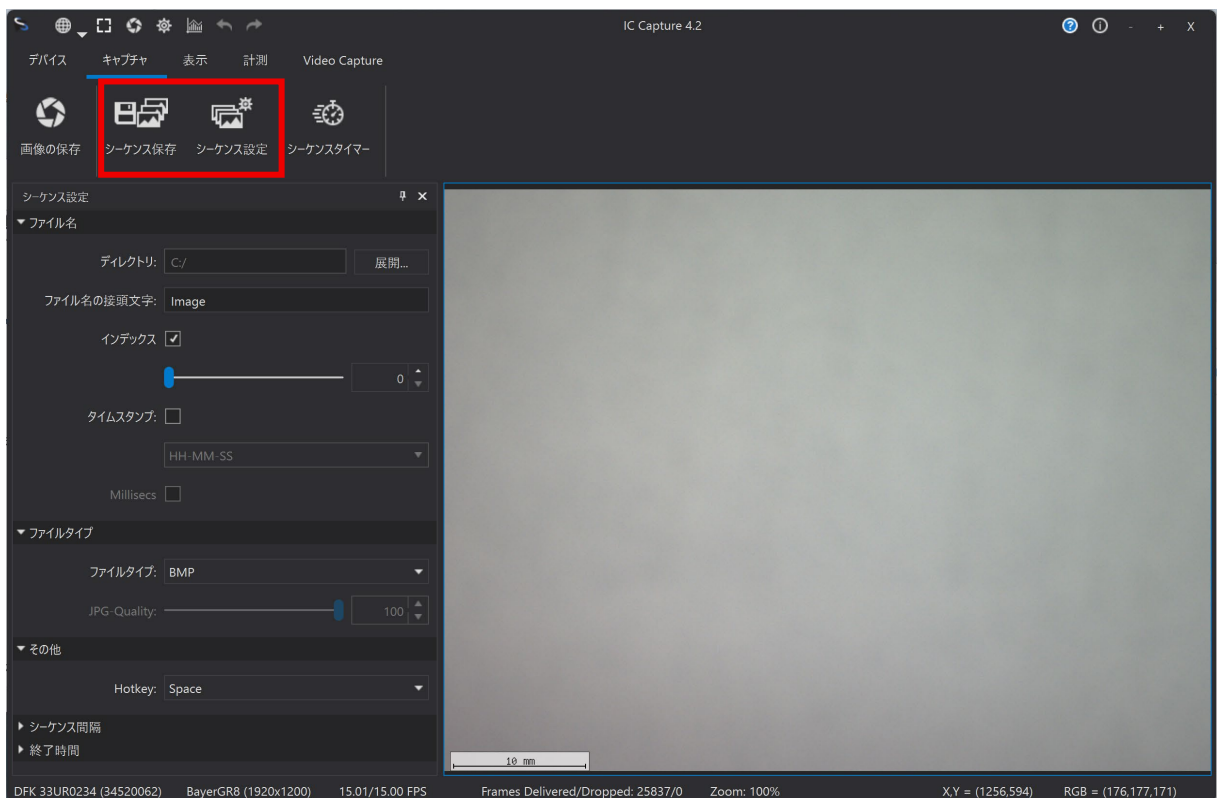
「画像保存」をクリックすると、その時点で表示されている画像を静止画として任意の保存先に保存できます。保存形式は、BMP、PNG、JPEG、TIFF に対応しています。



6. 静止画保存：シーケンス保存（キーボード押下で静止画保存）

任意のタイミングで、自動的にファイル名を割り振りながら静止画を連続保存する機能です。設定画面にて、保存先フォルダ、ファイル名、ファイル形式を指定し、ショートカットキー（スペースキーまたは Enter キー）を割り当てます。

タイムスタンプを有効にすると、ファイル名の末尾にキャプチャ時の日付と時刻が付与されます。設定完了後、割り当てたショートカットキーを押下するたびに、指定フォルダへ画像ファイルが作成されます。



【ショートカットキー利用時の注意事項】

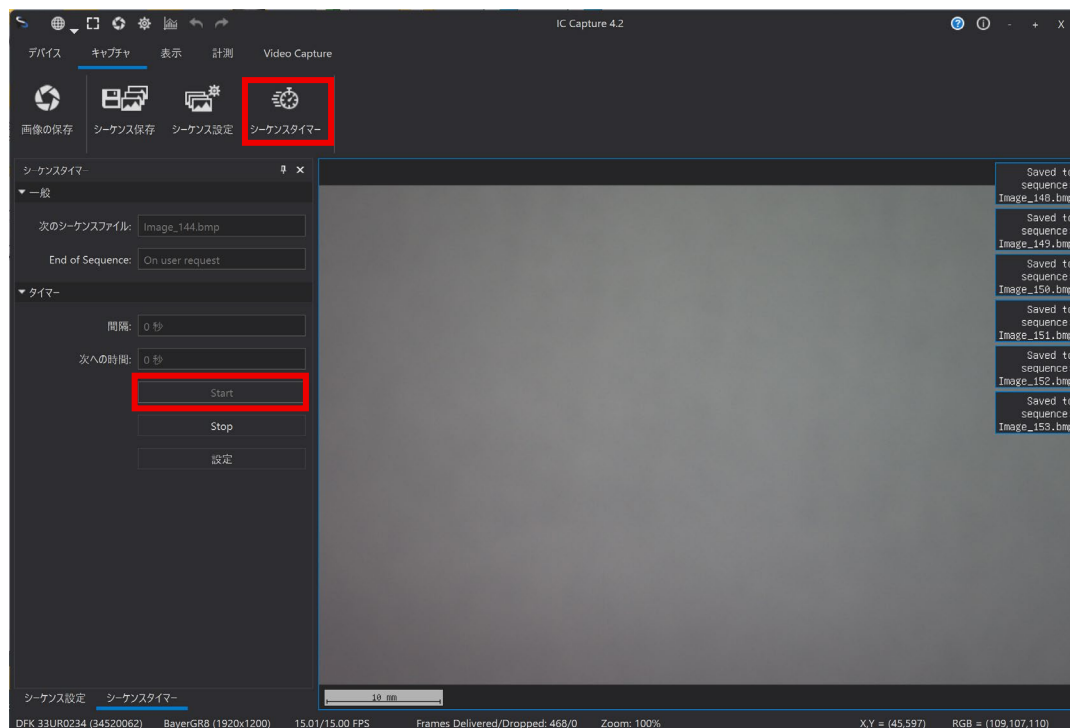
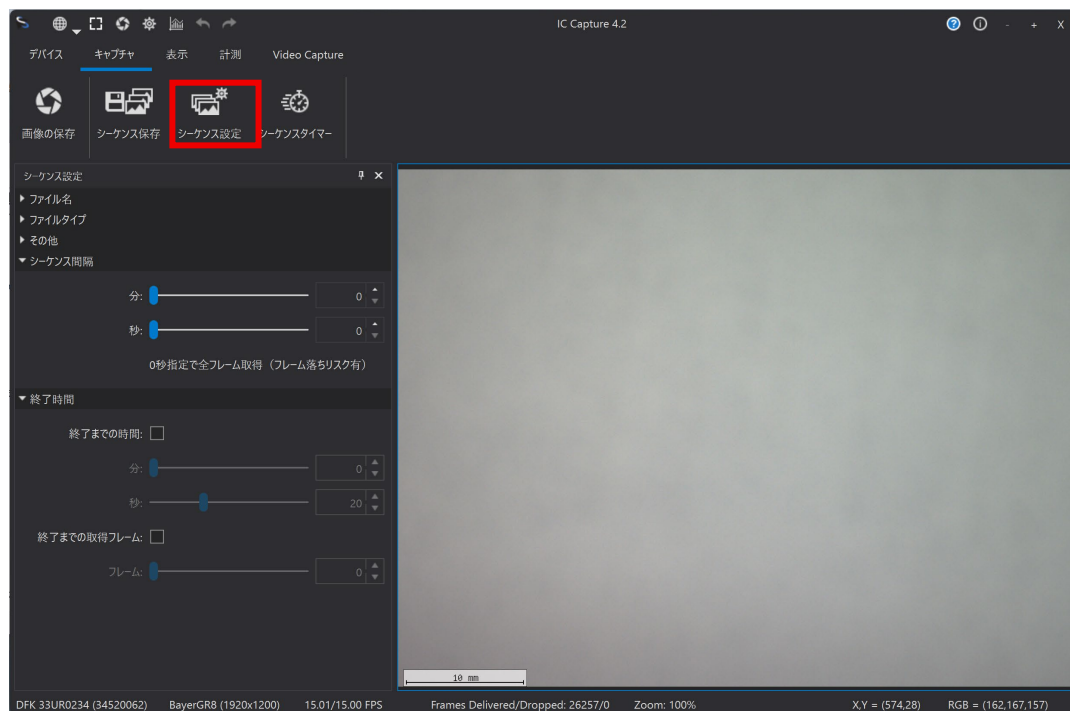
ショートカットキーは、IC Capture 4.0 がアクティブウィンドウ（最前面で選択されている状態）のときにのみ機能します。ファイルエクスプローラーなど、他のアプリケーションがアクティブになっている状態では、IC Capture 4.0 に対するショートカットキー入力は無効となりますのでご注意ください。

7. 静止画保存：自動シーケンス保存（インターバル保存）

指定した一定の時間間隔で、自動的に静止画を保存する機能です。

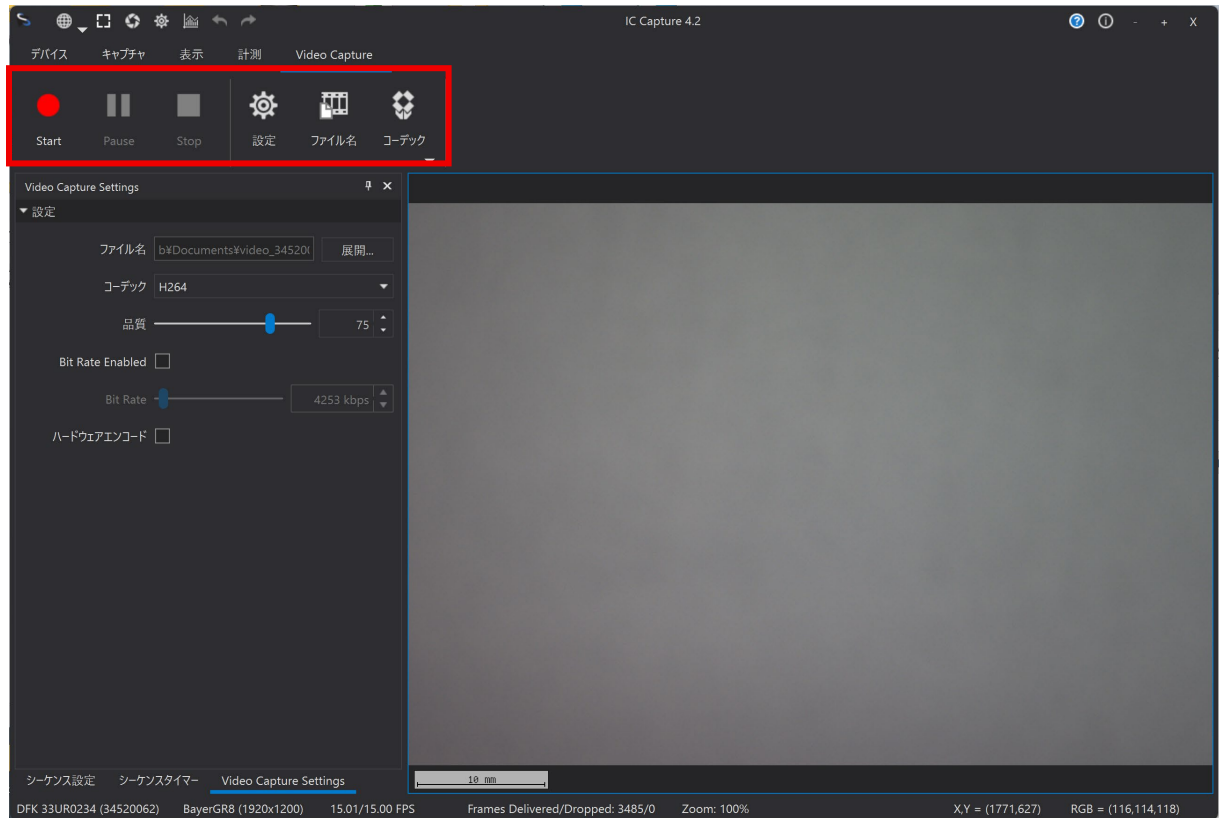
シーケンス設定画面にて、0 秒～60 分の範囲で秒単位での設定が可能です。

通常のシーケンス保存と同様に保存先やファイル名を指定した後、シーケンスタイマー画面「Start」ボタンをクリックすると自動保存が開始されます。



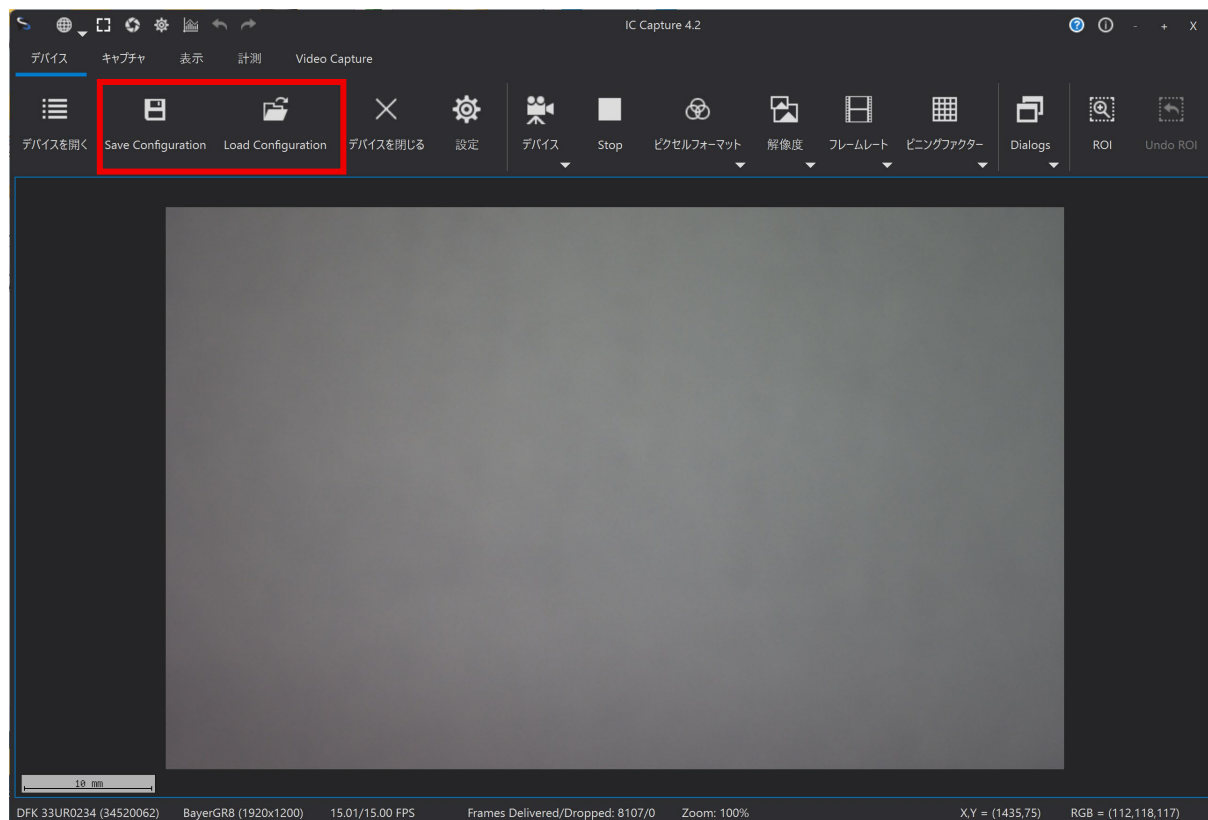
8. 動画保存

デバイスから取得した映像ストリームを PC 側のコーデックへ渡し、MP4 形式の動画ファイルとして書き出します。動画の設定画面から、保存場所、使用するコーデック (H264/H265)、圧縮率、ハードウェアエンコーディングなどを指定できます。



9. 構成ファイルの保存と読み出し

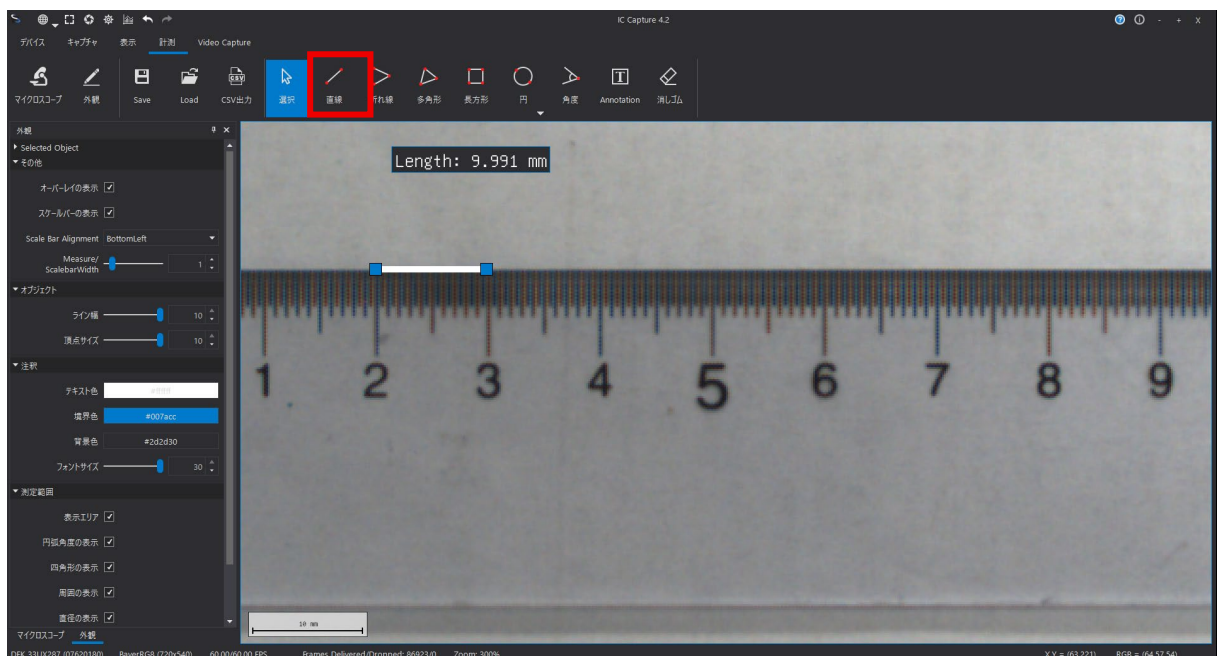
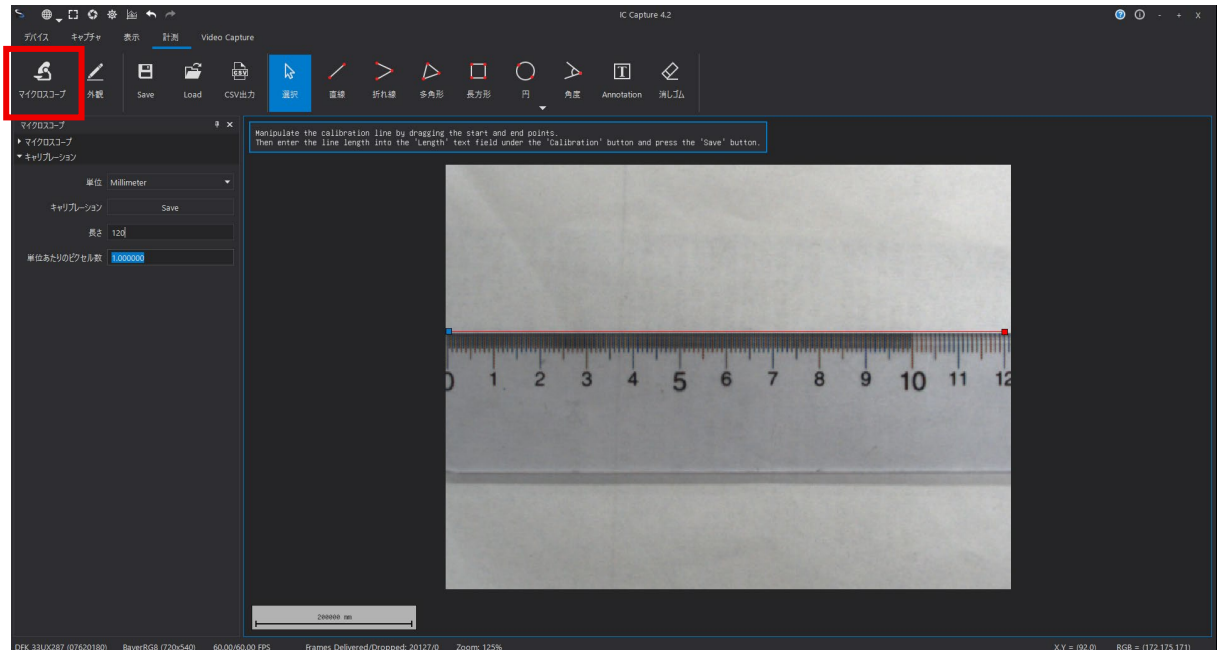
現在のデバイスおよびソフトウェアの設定状態を「構成ファイル」としてJSONファイル形式で保存できます。保存済みの構成ファイルを読み出すことで、以前のデバイスの設定環境を復元・適用させることができます。



10. キャリブレーション設定と測長

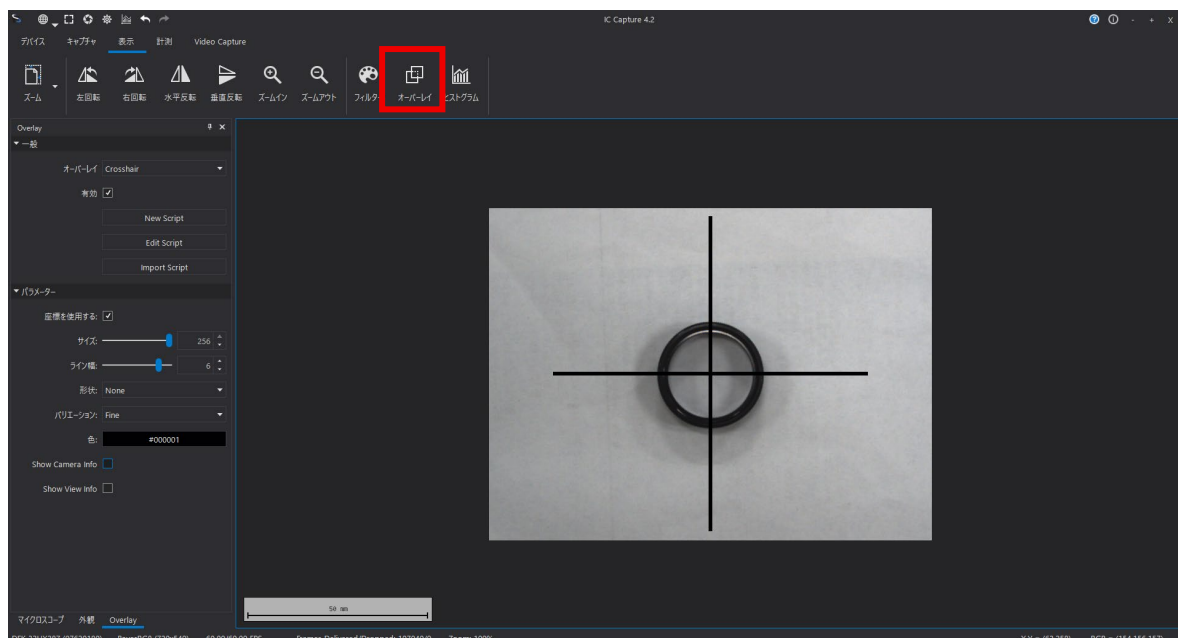
キャリブレーション機能を用いて範囲を指定し、ピクセル分解能(1ピクセルあたりの実寸)を定義することで、正確な寸法計測が可能になります。計測ツール(直線や円など)を対象物に配置することで、長さ、直径、面積、角度などを算出・表示できます。

算出した数値は CSV ファイルとして保存することも可能です。



11. オーバーレイ表示

IC Capture4 には、画像上に任意の図形やラインを重ねて表示できるオーバーレイ機能があります。位置合わせの確認や、基準線に対するズレの確認を行いたい場合に使用してください。必要に応じて、線の太さや色を変更できます。



オーバーレイのカスタマイズ

オーバーレイ表示は、デフォルトで提供されるオーバーレイに加えて、スクリプト言語 (Lua) を使用して独自のオーバーレイを作成する機能があります。スクリプト言語 (Lua) の実装方法に関するリファレンスは、以下をご参照ください。

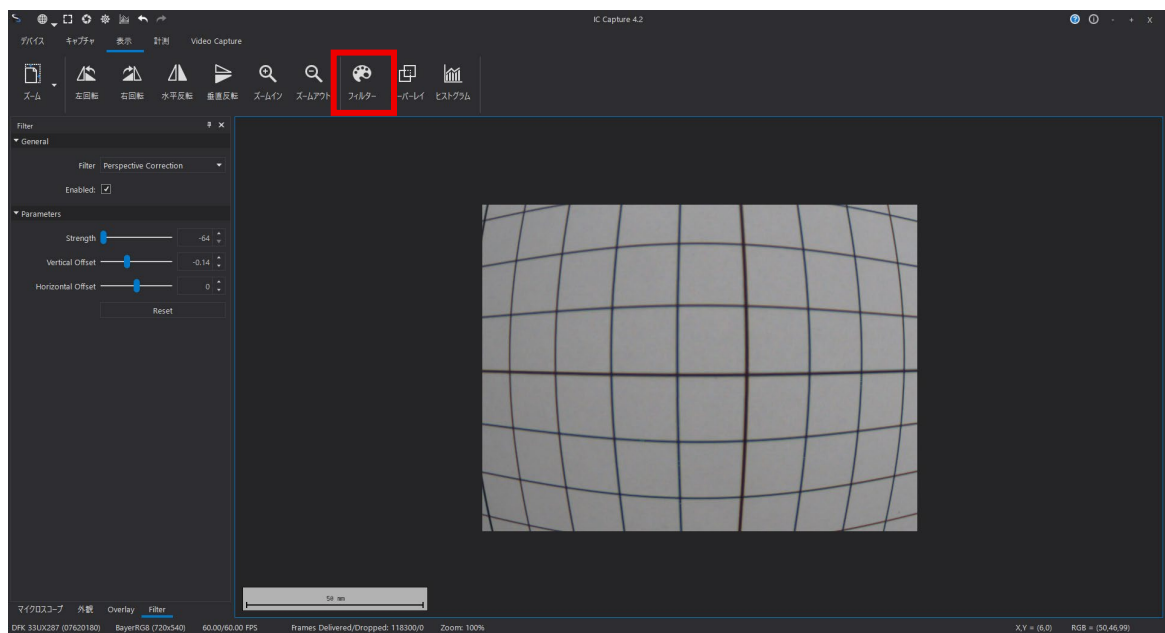
<http://www.lua.org/pil/contents.html>

スクリプト言語 (Lua) を使用すると、十字線、時間カウント、ベクター画像などの任意のオブジェクトを自由に配置し、あらゆるワークの形状確認ができます。

12. 歪み補正（画像補正）

撮影画像の歪みや見え方を補正したい場合に使用してください。Perspective Correction（射影歪み補正）に対応しており、レンズによる歪みや、斜めから撮影した画像の見え方を補正できます。あわせて、Invert（階調反転）、Sobel（エッジ検出）、Brightness/Contrast（明るさとコントラストの調整）などのフィルターも使用できます。画像の見え方を調整したい場合に、必要に応じて設定してください。

例：Perspective Correction（射影歪み補正）



4. よくある質問（Q&A）

Q1. デバイスが認識しない（ハードウェア編）



デバイスが PC に認識されない場合は、以下の項目を順にご確認ください。

【ハードウェア・接続の確認】

PC 本体への直接接続（ハブの不使用）

USB ハブや延長ケーブルを経由すると、電力供給の不足や信号の減衰により認識不良を引き起こす原因となります。まずは PC 本体の USB ポートに直接挿し込んで動作をご確認ください。

ケーブルの交換

外見上は問題がなくても、ケーブル内部の断線や劣化が発生している可能性があります。別の正常な USB ケーブルに交換し、症状が改善するかお試しください。

別の PC への接続テスト

現在ご使用の PC 固有の問題（ポートの故障やドライバの不具合など）か、デバイス本体の問題かを切り分けるため、可能な場合は別の PC に接続して認識されるかご確認ください。

Q2. デバイスが認識しない（ソフトウェア編）



デバイスが PC に認識されない場合は、以下の項目を順にご確認ください。

【ソフトウェア・OS 設定の確認】

ドライバの不整合

デバイスの機種(型番)ごとに、対応する専用ドライバが異なります。また、現在の「IC Capture 4」は、旧バージョンである「IC Capture 2.5」用のドライバとは互換性がありません。必ずデバイス本体の型番をご確認のうえ、該当機種に対応した「IC Capture 4 用ドライバ」が正しくインストールされているか確認してください。

他のアプリケーションの終了

デバイスの映像は、1 台につき同時に 1 つのアプリケーションでしか取得できません。他のソフトウェア（Web 会議ツールや別の画像処理ソフトなど）がバックグラウンドでデバイスを使用している場合は、それらをすべて完全に終了させてから再度お試しください。

Windows のプライバシー設定（アクセス許可）の確認

Windows のセキュリティ設定により、アプリからのデバイスアクセスが遮断されている場合があります。以下の手順で設定をご確認ください。

Windows の [スタート] ボタン > [設定]（歯車アイコン）を開きます。左側のメニューから [プライバシーとセキュリティ] > [カメラ] の順にクリックします。「カメラへのアクセス」が [オン] になっていることを確認します。

プライバシーとセキュリティ > カメラ

このページの設定により、顔認識 (Windows Hello) を使用してカメラでサインインできなくなることはありません。一部のデスクトップ アプリがこのページに表示されないが、これらの設定の影響を受ける可能性があります。 [カメラの詳細](#)



カメラへのアクセス

このデバイスを使用するユーザーは、この機能がオンの場合アプリにカメラへのアクセス許可を付与するかどうかを選択できます

オン

Q3. デバイスが不安定動作する



デバイスを動かして途中でデバイスロストするなどしたとき、PC の省電力機能や OS の起動設定が影響している可能性があります。以下の設定項目をご確認ください。

Windows の電源オプションの見直し（省電力モードの無効化）

コントロールパネルの「電源オプション」内にある「詳細な電源設定の変更」を開き、以下の項目を最大パフォーマンス（省電力無効）に設定します。

- **ハードディスク:** 「次の時間が経過後ハードディスクの電源を切る」を「なし（0 分）」に設定
- **スリープ:** スリープへの移行設定をすべて「なし」または「無効」に設定
- **USB 設定:** 「USB のセレクトティブ サスペンドの設定」を「無効」に設定
- **PCI Express:** 「リンク状態の電源管理」を「オフ」に設定
- **プロセッサの電源管理:** 「最小/最大のプロセッサの状態」を「100%」に設定

高速スタートアップの無効化

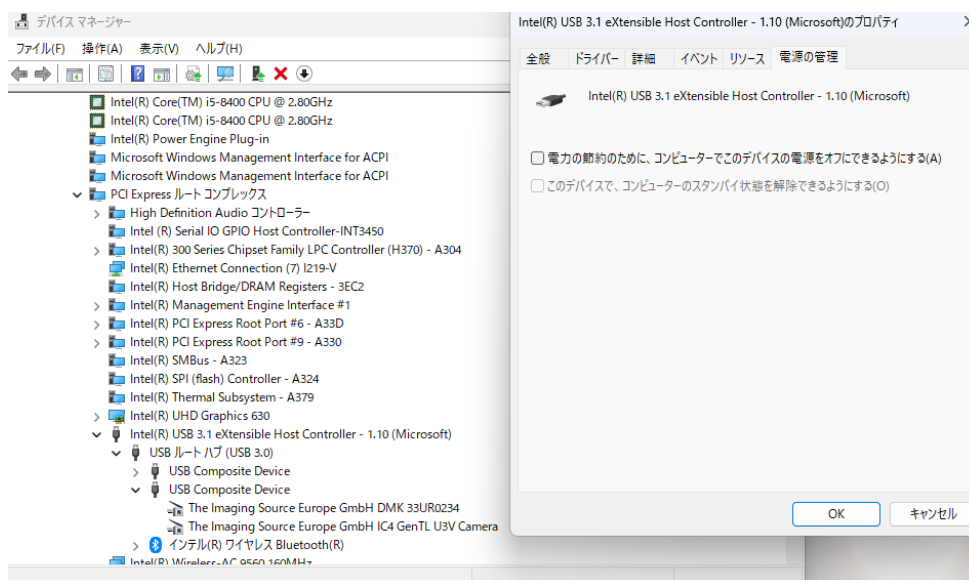
Windows の高速スタートアップ機能が原因で、USB デバイスの初期化に失敗する場合があります。以下の手順で無効化してください。

1. Windows のスタートボタンをクリックし、「コントロールパネル」と検索して開きます。
2. ウィンドウ右上の検索窓に「電源」と入力し、「電源オプション」を開きます。
3. 画面左側の「電源ボタンの動作を選択する」（または「カバーを閉じたときの動作の選択」）をクリックします。
4. 管理者権限マークのある「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします。
5. 画面下部の「高速スタートアップを有効にする（推奨）」のチェックを外します。
6. 「変更の保存」をクリックします。

デバイスマネージャーでの USB 省電力設定の解除

OS の制御によって USB ポートの電源が切断されるのを防ぎます。

1. スタートボタンを右クリックし、「デバイスマネージャー」を開きます。
2. メニューの「表示」から「デバイス（接続別）」を選択します。
3. 「PCI Express ルート コンプレックス」のツリーを展開し、対象の USB デバイス（「Intel(R) USB 3.1 eXtensible Host Controller」や「USB ルート ハブ」、「汎用 USB ハブ」など）を探します。
4. 対象のデバイスを右クリックし、「プロパティ」を開きます。
5. 「電源の管理」タブを選択します。
6. 「電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」のチェックを外します。



CPU の C ステート（省電力機能）の制限解除

CPU が省電力状態（C ステート）に移行することで、USB のデータ転送帯域が不安定になることがあります。以下のいずれかの方法で対策してください。

- PC の BIOS/UEFI 設定画面にて、C ステート（C-States 等）を「無効（Disable）」に設定する。
- BIOS の変更が難しい場合、「Processor Idle State Manager」などの省電力モード移行防止ソフトウェアを使用する

<https://www.argocorp.com/software/DL/tis/index.html#tab3>

Memo

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

The Imaging Source 日本総代理店



〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目2-4 新大阪第5ビル7F

E-mail : argo@argocorp.com TEL : 06-6151-9283

URL : www.argocorp.com

アナログ映像信号をUSBでPCに取り込み

